

# 2013年・参院選

## 「緑の党」が政治を変える

3.11の責任を引き受け  
希望の未来へ進むために



みどりの未来・基調提言

# 3.11フクシマが招いた大惨事

①現在も**8万人**を超える**避難者**  
被曝下の子どもは**20万人以上**

②移住したい**34%**  
中学生以下の子ども家庭では**51%**

③元の暮らしができるのは  
「**10年以上かかる**」が**7割**



# 「おまかせ民主主義」が原因

## 原発の賛否逆転

2007年

賛成68%

2011年

原発ゼロへ74%

★知ることで逆転した

①知らされなかった

②知るうとしなかった

③権限がなかった



# 経済成長優先が原因

## ①安全性より経済性

「10万年に1回」という安全神話

## ②持続可能性より経済性

「放射性廃棄物処理に10万年」

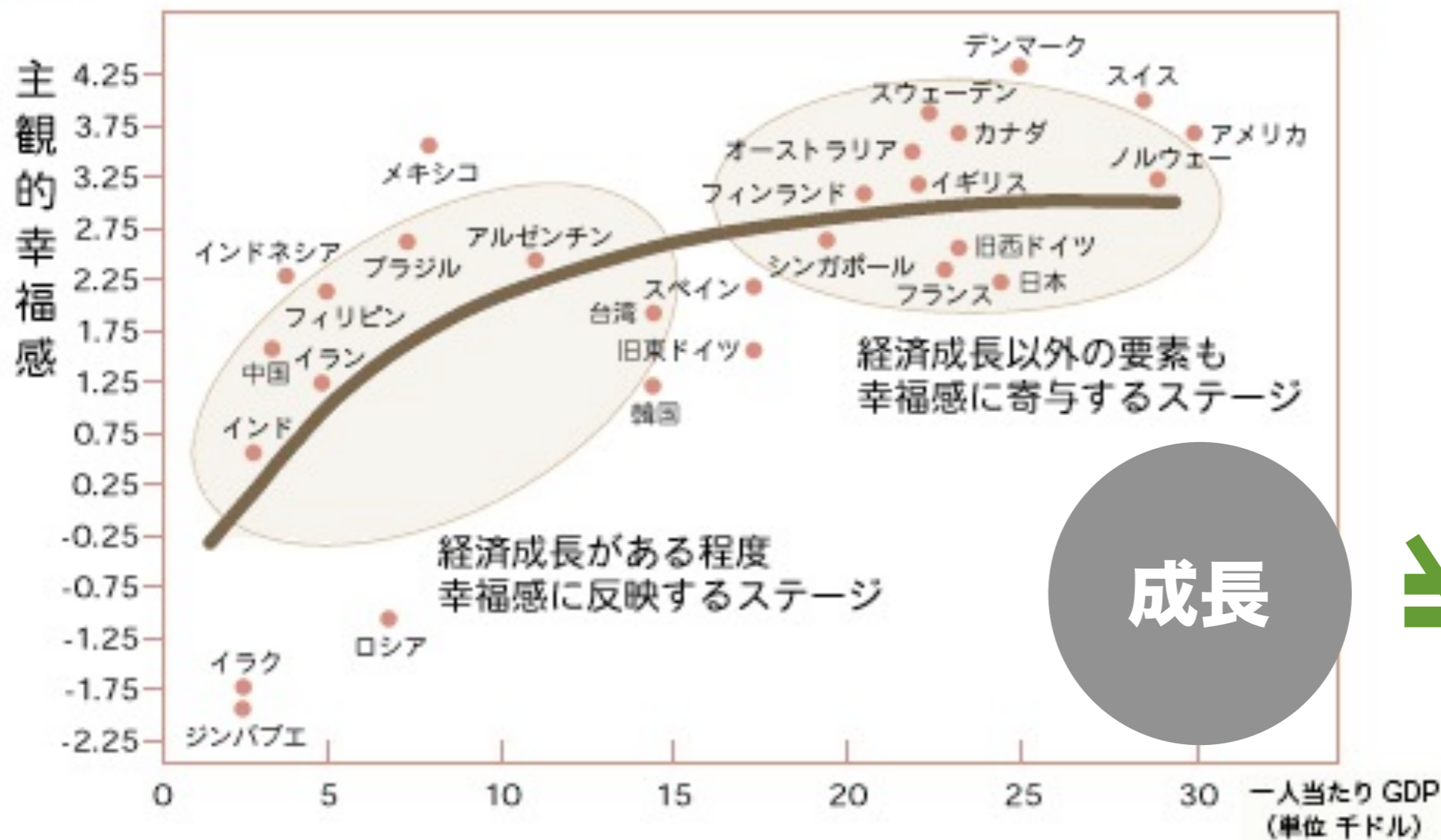
ウランも有限物質(50～80年)

## ③公正より経済性

「地方犠牲」「被曝労働」の不公正

# 経済成長の限界

① 経済成長と主観的幸福感の世界マップ



成長



幸福

電通総研「世界価値観調査」1995～2007年に  
97カ国・地域を対象に実施した結果から一部抜粋

# 緑の党の理念とビジョン

- ① 脱原発、自然と共生して生きる
- ② 脱成長で豊かに暮らす
- ③ 社会的公正を実現する
- ④ 差別のない多様な生き方の承認
- ⑤ 参加と熟議の民主主義の実現
- ⑥ 平和と非暴力の世界へ

# 2030年までのアジエンダ

- ①脱原発とCO<sub>2</sub>削減の両立
- ②食料自給率を80%へ
- ③ベーシックインカム
- ④金融・資産課税の強化
- ⑤スローライフへ時短
- ⑥シングル&多様な家族
- ⑦比例代表制と供託金ゼロ
- ⑧国際連帯税・通貨取引税



# 脱原発の政治プロセス

## ①再稼働反対・来春全面停止

★適切な対策で電力は間に合う

## ②1～2年かけて熟議

★市民・NGO含めた公開議論

## ③2013年に国民投票

★市民に最終的な決定権を

# ビジョン実現のための

## 3つの社会運動

①要求・抗議の運動（デモ）

②政策提言の運動（NGO）

③市民事業の運動（モデル）



★社会運動に根付く緑の党

# ビジョン実現のための

## 2つの政治運動

① 間接民主主義 → 議会進出

② 直接民主主義 → 国民投票

★ 緑の党は①の役割を担う

★ 自治体と政府は対等



ビジョン実現のために

# キャスティングボード

①ドイツ→躍進で脱原発の実現

★連邦議会の11%の議席率



②オーストラリア→炭素税の実現

★上院の6.5%の議席率



③フランス→大統領選で社会党が

脱原発 ★上院で議席率3%、大統領5%

# 既成政党と緑の党

既成政党

中央集権  
ナショナル  
議員の特権  
男中心  
閉鎖的



緑の党

分権的  
世界的  
(90か国)  
対等  
クォータ制  
公開・解放的

# クォータ制度

## 現在の女性国会議員の比率

参議院 44 / 242(18%)

衆議院 52 / 479(11%)

## 現在の女性自治体議員の比率

11%(みどりの未来は45%)

# 代表・党首選挙の議員特権

- ①民主党→国2300倍、地方50倍
- ②自民党→約3000倍
- ③共産党→中央委員会の互選
- ④社民党→1996年から無投票
- ⑤公明党→結党から党首選なし
- ⑥みどり→総会の信任投票

3.11の責任を引き受け  
希望の未来へ進むために

**「緑の党」が政治を変える**

2012年 「緑の党」 設立



**2013年・参院選挙へ**